



【豊島区さくら通信】もうすぐ開花♪ 桜の写真展を開催

～ 駒込の歴史と文化を植木職人の「蔵」から発信 ～

早くも桜の開花の第一報が届いた本日、そめいよしの桜の発祥地・駒込で、桜の写真展が始まった。会場は、昨年4月にオープンした「門と蔵のある広場」(駒込 3-12-8)内の蔵。主催：染井よしの桜の里駒込協議会(会長：田村和久 巢鴨信用金庫理事長)

植木職人だった旧丹羽家の門と蔵は、染井地域のシンボルとして地域の人々に親しまれてきた。オープンして1年、広場も地域の憩いの場として親しまれている。なかでも蔵は、そめいよしの桜や駒込の歴史文化の紹介スポットとしての活用が望まれていた。区は、2月3日「染井よしの桜の里駒込協議会」と旧丹羽家の蔵の地域活用に関する協定を取り交わした。今回の写真展が協定による初のイベントになる。

写真展開催日 時	3月11日(木曜日)～4月4日(日曜日)ただし、3月12日、15日～19日を除く。 開扉時間：午後1時～3時30分		
場 所	「門と蔵のある広場」(駒込 3-12-8)		
当日の様子 参加者の声	蔵の中には、一昨年から毎年開催している駒込の桜の写真コンテスト「さくらフォトコンテスト」の受賞作品、染井の歴史紹介パネルなどを展示している。重い外扉で普段は閉ざしている扉が開いているので、早速、散歩の途中の地域住民らが来場していた。 今後、隣接する駒込小学校児童の工作作品等を展示し、地域に親しんでもらうことを計画している。		
背 景 補 足 事 項	旧丹羽家の蔵は、天明年間(1780年代)から明治後期まで染井を代表する植木職人として活躍した丹羽家の八代目茂右衛門(もえもん)が昭和11(1936)年に建てた鉄筋コンクリートの蔵で、平成19年12月に国の登録有形文化財建造物に登録されている。 本区は、丹羽家の敷地を平成18年に取得、その後、地域住民らと協議やワークショップを重ね、同じく敷地内にあった門(区指定有形文化財で津藩藤堂家下屋敷から移築したとされている)と蔵を保存して、平成21年3月に「門と蔵のある広場」として整備した。 染井よしの桜の里駒込協議会…「そめいよしの」桜の発祥地である豊島区駒込において、駒込にゆかりのある人々・団体が手を携えて、「そめいよしの」桜を慈しみ大切に育て、駒込はもとより国内外に広く「そめいよしの」桜の普及を図り、また「そめいよしの」桜をテーマとする歴史と文化と環境に彩られた魅力ある駒込のまちづくりに貢献することを目的に平成21年5月に設立された。趣旨に賛同する団体・個人により構成されている。		
写 真 * 写真はメ ールで送り ます	蔵の中の展示「染井の植木屋」資料 	さくらフォトコンテスト作品を展示 	
問 合 せ	染井よしの桜の里駒込協議会の事務局・駒込地域文化創造館		